

第 44 回北信越国民体育大会

馬術競技実施要項



- 主 催 (公財) 日本スポーツ協会
新潟県 石川県 富山県 長野県 福井県
新潟県教育委員会 石川県教育委員会 富山県教育委員会 長野県教育委員会 福井県教育委員会
(公財) 新潟県スポーツ協会 (公財) 石川県スポーツ協会 (公財) 富山県スポーツ協会
(公財) 長野県スポーツ協会 (公財) 福井県スポーツ協会
- 共 催 会場地市町村 会場地市町村教育委員会
- 後 援 スポーツ庁
- 主 管 (公財) 新潟県スポーツ協会 新潟県各競技団体

この事業は、競輪の補助金を受けて実施しています。



目 次

1	大会日程と競技会場一覧	1
2	総 則	4
3	馬術競技実施要項	19
4	関係馬術協会・連盟一覧	24
5	会場地市町村スポーツ主管課	24
6	第44回北信越国民体育大会実行委員会事務局	24
7	第44回北信越国民体育大会参加選手・監督【交代（変更）届・棄権届】	25

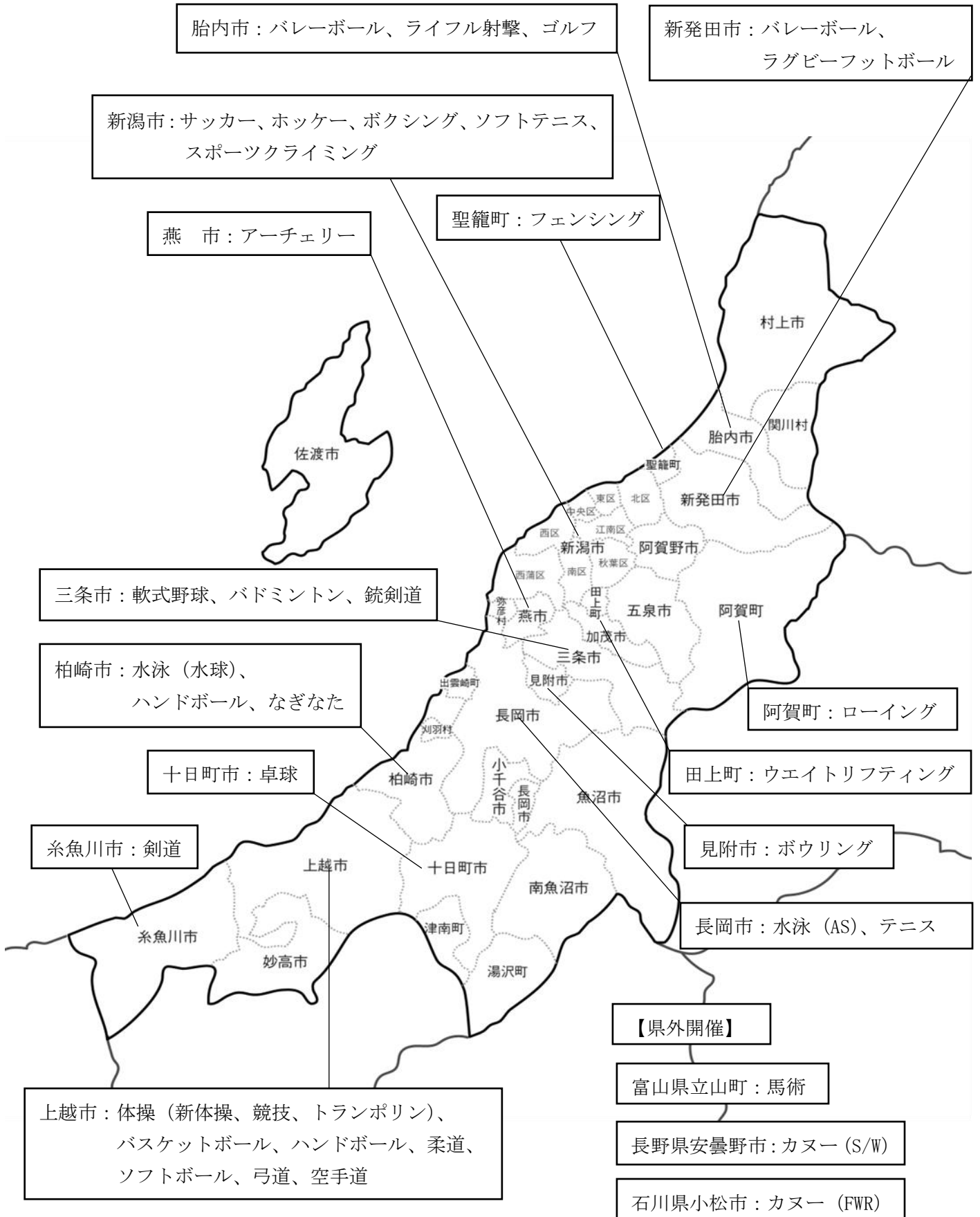
1 第44回北信越国民体育大会 日程・競技会場

中心会期：令和5年8月25日(金)・26日(土)・27日(日) ◎開会式 ☆開始式 ○競技 ●公式練習 ★表彰式

市町村名	競技種目	種別	競技日程			競技会場	郵便番号	会場所在地		
			25日(金)	26日(土)	27日(日)			所在地	電話番号	
新潟市	開会式		◎			新潟県健康づくり・スポーツ医学センター	950-0933	新潟市中央区清五郎67-12	025-287-8806	
	サッカー	成年男子	8/11(金) ○★	8/12(土) ○★		新津金屋運動広場	956-0823	新潟市秋葉区金屋260-1	0250-22-6780	
		少年男子	8/11(金) ○	8/12(土) ○	8/13(日) ○★	白根総合運動公園多目的広場	950-1214	新潟市南区上下諏訪木1775-1	025-373-6311	
		少年女子		8/11(金) ○	8/12(土) ○	8/13(日) ○★	デンカスワンフィールド	950-0933	新潟市中央区清五郎33-1	025-286-1080
							新津金屋運動広場	956-0823	新潟市秋葉区金屋260-1	0250-22-6780
							新潟市陸上競技場	951-0823	新潟市中央区一番堀通3-1	025-266-8111
						新潟県スポーツ公園多目的運動広場南エリア	950-0933	新潟市中央区清五郎33-1	025-286-1080	
	ホッケー	成年男子				新潟市城山運動公園ホッケー場	953-0075	新潟市西蒲区峰岡580	0256-72-1212	
		成年女子	●☆○	○	○★					
		少年男子								
		少年女子								
	ボクシング	成年男子				県立新潟南高等学校	950-0994	新潟市中央区上所1-3-1	025-247-3331	
		成年女子	●☆○	○	○★					
		少年男子								
	ソフトテニス	成年男子				新潟市庭球場	950-0101	新潟市東区江口114-1	025-276-8900	
		少年男子	8/18(金) ●	8/19(土) ☆○	8/20(日) ○★					
		少年女子								
	スポーツクライミング	成年女子				クライミングジムCAMP4	950-0664	新潟市東区松島1-4-32	025-270-8460	
少年男子			7/29(土) ☆○	7/30(日) ○★						
少年女子										
長岡市	水泳	A S	少年女子		7/22(土) ●○	7/23(日) ☆○★	ダイエーブロビスフェニックスプール	940-0826	長岡市長倉町1338 0258-39-3211	
	テニス	成年男子		7/7(金) ●	7/8(土) ○	7/9(日) ○★	長岡市希望が丘テニス場	940-2126	長岡市西津町2150-1 0258-29-1082	
		成年女子								
上越市	体操	新体操	少年女子		7/15(土) ●☆○	7/16(日) ○★	上越市総合体育館	943-0805	上越市木田1-17-33 025-525-4144	
			成年男子				上越市立上越体操場(ジムリーナ)	949-3102	上越市大潟区九戸浜338 025-546-7680	
		成年女子		7/16(日) ●	7/17(月) ☆○★					
		少年男子								
		少年女子								
		トランポリン	男子		7/22(土) ●	7/23(日) ☆○★				
	女子									
	バスケットボール	成年男子		●	○	○★	リージョンプラザ上越	942-0063	上越市下門前446-2 025-544-2122	
		成年女子								
		少年男子								
		少年女子								
	ハンドボール	成年女子	●☆	○	○★	上越市柿崎総合体育館	949-3211	上越市柿崎区法音寺730-1 025-536-6636		
	柔道	成年男子		8/19(土) ●	8/20(日) ☆○★	県立武道館(謙信公武道館)	943-0176	上越市戸野目古新田375 025-520-8897		
		女子								
	ソフトボール	成年男子				清里スポーツ公園グラウンドA面	943-0515	上越市清里区武士490 025-528-7300		
		成年女子	8/18(金) ●	8/19(土) ○	8/20(日) ○★	上越市少年野球場A面	943-0173	上越市富岡1008-1 025-524-4144		
		少年男子				上越市少年野球場B面				
		少年女子				清里スポーツ公園グラウンドB面	943-0515	上越市清里区武士490 025-528-7300		
弓道	成年男子				県立武道館(謙信公武道館)	943-0176	上越市戸野目古新田375 025-520-8897			
	成年女子	8/18(金) ●	8/19(土) ☆○	8/20(日) ○★						
	少年男子									
	少年女子									
空手道	成年男子				県立武道館(謙信公武道館)	943-0176	上越市戸野目古新田375 025-520-8897			
	成年女子			7/16(日) ☆○★						
	少年男子									
	少年女子									
三条市	軟式野球	成年男子	●	○	○★	三条パール金属スタジアム	955-0803	三条市月岡4-36-1 0256-32-8911		
	バドミントン	成年男子	●	☆○	○★	三条市体育文化会館	955-0083	三条市荒町2-1-3 0256-36-0700		
		成年女子								
銃剣道	少年男子		8/19(土) ●	8/20(日) ☆○★	三条市体育文化会館	955-0083	三条市荒町2-1-3 0256-36-0700			

市町村名	競技種目		種別	競技日程			競技会場	会場所在地	
				25日(金)	26日(土)	27日(日)		郵便番号	所在地・電話番号
柏崎市	水泳	水球	女子	7/28(金) ●	7/29(土) ☆○	7/30(日) ○★	県立柏崎アクアパーク	945-0065	柏崎市学校町6-73 0257-22-5555
			少年男子						
	ハンドボール	成年男子	☆○	○	○★	柏崎市総合体育館	945-0821	柏崎市大字半田1-4 0257-21-3751	
		少年男子							
少年女子									
なぎなた		少年女子		●	☆○★	柏崎市武道館	945-0061	柏崎市栄町18-11 0257-22-5597	
新発田市	バレーボール	成年女子	●☆	○	○★	新発田市カルチャーセンター	957-0054	新発田市本町4-16-83 0254-22-3050	
		少年女子							
	ラグビーフットボール	成年男子	☆	○	○★	五十公野公園陸上競技場	957-0021	新発田市五十公野5724 0254-22-5244	
		女子	8/18(金) ☆	8/19(土) ○	8/20(日) ○★				サンスポーツランド多目的グラウンド
少年男子	8/25(金) ☆	8/26(土) ○	8/20(日) 8/27(日) ○★						
十日町市	卓球	成年女子				十日町市総合体育館	940-0072	十日町市西本町1-365-14 025-752-4377	
		少年男子	●	☆○★					
		少年女子							
見附市	ボウリング	成年男子				サウンドボウル見附店	954-0111	見附市今町7-15-10 0258-66-5537	
		成年女子	7/21(金) ●☆	7/22(土) ○	7/23(日) ○★				
		少年男子							
		少年女子							
燕市	アーチェリー	成年男子				燕市吉田ふれあい広場	959-0208	燕市大保466 0256-93-5055	
		成年女子		●☆	○★				
		少年男子							
		少年女子							
糸魚川市	剣道	成年女子				糸魚川市民総合体育館	941-0064	糸魚川市上刈4-3-1 025-552-6521	
		少年男子		●	○★				
		少年女子							
胎内市	バレーボール	成年男子	●☆	○	○★	胎内市総合体育館	959-2600	胎内市清水9-7 0254-43-0003	
		少年男子							
	ライフル射撃	成年男子				県立胎内ライフル射撃場	959-2823	胎内市熱田坂882-92 0254-48-3208	
		成年女子	●	☆○★	○★				
		少年男子							
	少年女子								
ゴルフ		少年男子	7/6(木) ●	7/7(金) ○★	中条ゴルフ倶楽部	959-2709	胎内市村松浜555 0254-45-3636		
聖籠町	フェンシング	成年女子				聖籠町総合体育館	957-0117	北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1280 0254-27-2121	
		少年男子		●	○★				
		少年女子							
田上町	ウエイトリフティング	成年男子	●	○	○★	田上町交流会館	959-1503	南蒲原郡田上町大字原ヶ崎新田3072-1 0256-47-1201	
阿賀町	ローイング	成年男子				県立津川漕艇場	959-4402	東蒲原郡阿賀町津川3079-2 0254-92-2987	
		成年女子		7/15(土) ●☆	7/16(日) ○★				
		少年男子							
		少年女子							
富山県立山町	馬術	成年男子				常願寺川公園馬術競技場	930-0275	富山県新川郡立山町利田1 076-463-3343	
		成年女子	7/7(金) ●	7/8(土) ○	7/9(日) ○★				
		少年							
長野県安曇野市	カヌー	SL/WW	成年男子		5/6(土) ●	5/7(日) ☆○★	龍門湖公園内前川カヌースラロームコース	399-7102	長野県安曇野市明科中川手6824-1 近藤携帯 090-9004-3079
		成年女子							
石川県小松市	カヌー	SP	成年男子				木場潟カヌー競技場	923-0311	石川県小松市木場町木場潟内 岩瀬携帯 090-4843-8730
			成年女子		7/22(土) ●☆	7/23(日) ○★			
			少年男子						
			少年女子						

第44回北信越国民体育大会市町別競技会場一覧



2 総 則

◇開催の趣旨

この大会は、国民体育大会の趣旨に則り、その予選会として、北信越の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力の向上を目指し、併せて、5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

◇実施方法及び注意事項

1 大会

この大会は、特別国民体育大会本大会正式種目のうち、ブロック予選のある競技種目について行う。ただし、中央競技団体が直接開催するものを除く。

2 実施競技（31 競技）

水泳（水球・アーティスティックスイミング）、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ

3 日程と会場地

この大会の各競技日程と会場地については、下記のとおりとする。なお、災害や荒天等のため日程や会場の変更が必要となった場合は、関係競技団体との協議を経て、第44回北信越国民体育大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）が決定する。

	会 期	競 技 名	会 場 地	会場数
会 期 前	5月6日（土）～7日（日）	カヌー（S L/WW）	長野県安曇野市	新潟県 11市 3町 長野県 1市 富山県 1町 石川県 1市
	7月6日（木）～7日（金）	ゴルフ	胎内市	
	7月7日（金）～9日（日）	テニス 馬術	長岡市 富山県立山町	
	7月15日（土）～16日（日）	ローイング 体操（新体操）	阿賀町 上越市	
	7月16日（日）	空手道	上越市	
	7月16日（日）～17日（月）	体操（競技）	上越市	
	7月21日（金）～23日（日）	ボウリング	見附市	
	7月22日（土）～23日（日）	水泳（A S） 体操（トランポリン） カヌー（S P）	長岡市 上越市 石川県小松市	
	7月28日（金）～30日（日）	水泳（水球）	柏崎市	
	7月29日（土）～30日（日）	スポーツクライミング	新潟市	
	8月11日（金）～13日（日）	サッカー	新潟市	

	8月18日(金)～20日(日)	ソフトテニス ソフトボール 弓道	新潟市 上越市 上越市
	8月19日(土)～20日(日)	柔道 銃剣道 ラグビーフットボール(女子)	上越市 三条市 新発田市
	8月20日(日)	ラグビーフットボール(少年男子)	新発田市
中 心 会 期	8月25日(金)～26日(土)	卓球	十日町市
	8月25日(金)～27日(日)	ホッケー ボクシング バレーボール バスケットボール ウエイトリフティング ハンドボール 軟式野球 バドミントン ライフル射撃	新潟市 新潟市 新発田市・胎内市 上越市 田上町 上越市・柏崎市 三条市 三条市 胎内市
	8月26日(土)～27日(日)	フェンシング 剣道 ラグビーフットボール アーチェリー なぎなた	聖籠町 糸魚川市 新発田市 燕市 柏崎市

4 競技方法

「特別国民体育大会各競技実施要項」に基づき、各競技団体が定める競技方法とする。

5 参加資格、所属県及び選手の年齢基準

「特別国民体育大会実施要項」総則5に基づき、次のとおりとする。

なお、参加資格については「特別国民体育大会参加資格、所属県及び選手の年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/>】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しないものであっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」

又は「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ) bにおいて、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属県の当該競技団体会長(代表者)とスポーツ協会会長(代表者)が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第76回又は第77回大会(都道府県大会及びブロック大会を含む。)において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第76回又は第77回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

[注] a及びbは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者(別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。)

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者(別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。)

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c 一家転住に係る者(別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。)

[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d JOCエリートアカデミーに在籍する者(別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。)

e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者(別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。)

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督は、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会(以下「日本スポーツ協会」という。)が指定するアンチ・ドーピング教育を受講していること

が望ましい。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 各県大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

(ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属県

所属県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する県から選択することができる。

ア 成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ウ) 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2023年4月30日以前から本大会終了時（2023年10月17日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りでない。

[成年種別]

a 別記4「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者

b 別記4「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2005年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2005年4月2日から2008年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2023年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2008年4月2日から2009年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、実行委員会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、実行委員会がその可否を決定する。

6 表彰

開催規程に従い、競技ごとに行う。

7 各競技の参加申込方法

(1) 各県スポーツ協会長及び各県競技団体会長は、連署の上、各県で開催する予選会において選抜された者を、実行委員会あてに申し込むものとする。

(2) 参加申込は、令和5年8月3日（木）正午までに国民体育大会参加申込システムにより行うこと。（申込URL <https://jspo-entry.japan-sports.or.jp/>）

ただし、次に掲げる競技の参加申込は、それぞれに定める日までとする。

	競技名	申込締切日
会	カヌー（S L / WW）	4月13日（木）正午
	テニス、ゴルフ、馬術	6月15日（木）正午
	ローイング、体操（競技、新体操）、空手道	6月22日（木）正午
期	水泳（アーティスティックスイミング）、体操（トランポリン）、カヌー（S P）、ボウリング	6月29日（木）正午
	水泳（水球）、スポーツクライミング	7月6日（木）正午
前	サッカー	7月20日（木）正午
	ソフトテニス、柔道、ソフトボール、弓道、ラグビーフットボール、銃剣道	7月27日（木）正午

(3) 参加申込様式は、実行委員会が日本スポーツ協会及び主管競技団体と協議し、作成する。

(4) 参加申込締切後の選手交代は、特別の事情がない限り認めない。特別の事情で選手を交代する場合は、所定の様式により実行委員会あて届出を行い、当該競技の監督会議（代表者会議）で認められなければならない。

なお、大会終了後、実行委員会に対して所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

8 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

9 組合せ抽選会

組合せ抽選は、各県競技団体の代表により行う。抽選日時、場所は、主管競技団体の責任において決定する。なお、主管競技団体は、組合せ結果を7月5日（水）正午までに実行委員会あて報告するものとする。

ただし、早期開催競技及び本大会の監督会議等で組合せ抽選を行う競技にあつては、組合せ抽選会が終了次第、実行委員会へ報告するものとする。

10 大会参加料

(1) この大会に参加する各県スポーツ競技会は、本部役員（視察員を除く。）以下、選手及び監督一人につき1,000円の大会参加料を納入するものとする。なお、参加納付対象の選手・監督は、競技別実施要項「3 種別（種目）及び参加人員」欄並びにその枠外に注記に記載する者とし、これ以外の項に規定する予備登録選手は、参加料を必要としないものとする。

(2) 大会参加料は、各県スポーツ協会が取りまとめ、次のとおり納入するものとする。

ア 納入期日 令和5年8月4日（金）

イ 納入先金融機関 第四北越銀行姥ヶ山支店 普通口座 5041514

第44回北信越国民体育大会実行委員会

委員長 細貝 和司

11 宿泊申込み

第44回北信越国民体育大会宿泊要項による。

12 参加選手団本部役員及び視察員

(1) 参加選手団本部役員の編成は、団長、副団長、総監督及び総務の合計15名以内とし、このほかに5名以内の顧問を設けることができる。

(2) 参加選手団本部役員のほか、20名以内の視察員を設けることができる。

13 国民体育大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び北信越各県スポーツ協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として、大会参加者による国民体育大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む。）視察員並びにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の各県スポーツ協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（1人当たり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

(3) 納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から各県スポーツ協会へ通知する。

14 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、実行委員会及び北信越国民体育大会実施競技団体（以下「北信越国体関係機関・団体」という。）は、参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関して、以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国

体関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属県名、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載

(イ) 総合会場内におけるアナウンス等による紹介

(ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

(エ) 大会関連ホームページへの掲載

(オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(イ) 北信越国体関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載

(ウ) 北信越国体関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

北信越国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公表されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

北信越国体関係機関・団体が認めた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該競技団体を中心に対応する。

ウ 映像北信越国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売、配布されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該競技団体を中心に対応する。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、北信越国体関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

15 その他

- (1) 参加する選手・監督が着用する競技用ユニフォームには、必ず所属県名を明示しなければならない。明示する所属県名のサイズ・位置等は、競技別要項又は競技規則等によるものとする。
- (2) 参加申込及び宿泊申込が定められた期日までに行われない場合、又は大会参加料が納入締切日までに納入されない場合は、この大会への参加を認めない。
- (3) その他の事項については、日本スポーツ協会の国民体育大会開催基準要項及び同細則による。
- (4) 大会の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、政府方針をはじめ、日本スポーツ協会策定の「国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針」、開催地の実情に応じた開催地版ガイドライン、各競技の特性を踏まえた競技別ガイドライン、業種別ガイドライン等を基に、大会運営に必要な対策を十分に講じた上で開催することとする。なお、感染防止対策として個人の健康管理の記録に際しては、体調管理アプリケーション等を利用するものとし、使用する体調管理アプリケーション等で取得した個人情報については、大会への出場・参加・来場資格の確認及び大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

別記1 「国民体育大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民体育大会開催基準要項細則第3項〔国民体育大会開催基準要項第8項第1号及び第10号第4号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転向への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民体育大会開催基準要項細則第3項－（1）－1）－③）に抵触しないものとする。
 - （1）この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - （2）本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。なお、「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - （3）転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2（1）の場合は転居元、下記2（2）の場合は転居先が属する都道府県体育・スポーツ及び都道府県競技団体に対し、その旨を報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団他愛は、下記2（1）の場合は転居先、下記2（2）の場合は転居元が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - （1）転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - （2）転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民体育大会開催基準要項細則第3項〔国民体育大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－2)－②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む。）と異なる都道府県から参加する場合、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

別記4 「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第32回オリンピック競技大会（2021年・東京）に参加した者
 - (2) 2023年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者
 - ア JOCオリンピック強化指定選手
 - イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
 - ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手
- ※ 強化指定ランキングについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対処となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次のいずれも満たすものとする。

- (ア) 2023年4月30日以前から大会終了時（2023年10月17日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む。）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2023年4月30日以前から大会終了時（2023年10月17日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所

等に現実に通勤し、勤務していること。

(イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2023年4月30日以前から大会終了時（2023年10月17日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第76回及び第77回大会における当該特例対象県から参加していても、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにおいても該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時点が2023年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県

の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 77 回大会または 2023 年開催の特別大会に参加していた者が、第 78 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

<例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011 年度から 2012 年度（小学校は 2015 年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

[15] 馬術競技

1 期 日

2023年7月7日（金）から9日（日）

月 日	競技番号	種 別	競技種目	時 間
7月8日（土）	第1競技	成年男子	スピード&ハンディネス競技	8:00～8:40
	第2競技	少 年	スピード&ハンディネス競技	9:10～9:50
	第3競技	成年女子	二段階障害飛越競技	10:20～10:50
	第4競技	少 年	団体障害飛越競技 1回戦・2回戦	11:20～12:00
	第5競技	成年男子	セントジョージ賞典馬場馬術競技	15:00～15:50
	第6競技	少 年	ジュニアライダー個人馬場馬術競技	16:00～16:50
7月9日（日）	第7競技	成年女子	セントジョージ賞典馬場馬術競技	7:00～9:50
	第8競技	成年男子	標準障害飛越競技	8:30～9:20
	第9競技	成年女子	標準障害飛越競技	10:00～10:50
	第10競技	少 年	標準障害飛越競技	11:30～12:20
	第11競技	少 年	団体障害飛越競技 決勝戦	12:50～13:10
	表 彰 式			

2 会 場

「常願寺川公園馬術競技場」

〒930-0275 富山県中新川郡立山町利田1 (TEL 076-463-3343)

3 種別及び参加人員

種 別		監 督	H M	選 手	参加県	小 計	合 計
成年男子	自馬競技	1	1	4	5	30	80
成年女子	自馬競技			4		20	
少 年	自馬競技			4		20	
	団体障害競技			2		10	

(注) 監督及びホースマネージャーは、選手を兼ねることができる。

※監督あるいはホースマネージャーが選手を兼ねる場合の人数は、上記の選手数には含まれていない。

4 競技上の規程及び試合方法

(1) この競技会は、「日本馬術連盟競技会規則最新版」及び「国体馬術競技規程（特別国体用）」を適用する。

(2) 申込後は、人馬の変更を認めない。なお、申込と同時に予備馬は全種目（団体障害飛越競技を除く。）を通じて、1県3頭、また予備選手は種別毎に2名をそれぞれ登録することができる。

予備馬は、出発前の事故に限り交代することができるものとし、この場合において、その事故人馬のも申込種目に限る。

人馬の交代は、監督会議前に診断書を添付のうえ文書をもって申請しなければならない。その出場の可否は、監督会議で決定する。

- (3) 選手は、団体障害飛越競技と自馬競技に重複して出場することができる。団体障害飛越競技は2名戦で行う。ただし、選手は出場枠内で3名まで登録することができる。
- (4) 馬場馬術競技については各県1頭、団体障害飛越競技以外の障害飛越競技については、各県3頭まで出場できる。
- (5) 人、馬とも同一種目に1回だけ出場できる。また、人は自馬競技で1人2種目まで出場できる。
- (6) 参加馬は、1県8頭までとする。ただし、内国産馬を1頭以上含めることとし、かつ個人競技種目に1種目以上エントリーしなければならない。
- (7) 参加馬は、日本馬術連盟「検査・予防接種実施要項」に定められた日本脳炎予防接種及びインフルエンザ予防接種を受けた証明書を持参すること。
- (8) 参加選手は、傷害保険に加入していること。
- (9) 服装等

ア 服装は、日本馬術連盟競技会規程最新版を適用することとし、上衣又は上衣を着用しない場合においても、所属県名を明記すること。違反したときは出場を認めない。

イ 障害飛越競技に出場する競技者は、騎乗する際は必ず防護帽を着用しなければならない。防護帽を着用しないときは、騎乗を禁ずる。

ウ 防護帽は、安易に脱落しないよう恒久的に取り外しができない顎紐がシェル部に3点以上で固定されたものを正常に使用しなければならない。

エ 競技者以外の者が障害馬術練習場で騎乗する場合においても、上記「イ」「ウ」を適用する。

5 種目別実施要項

種別	種目	実施要項
成年男子	障害標準飛越競技	高さ1.35m以下、幅1.55m以下、水壕幅3.50m以下、13障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
	スピード&ハンディネス競技	高さ1.30m以下、幅1.50m以下、13障害以内、全長600m未満とする。
	馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
成年女子	障害標準飛越競技	高さ1.25m以下、幅1.45m以下、水壕幅3.50m以下、13障害以内、速度350m/分、全長約500mとする。
	二段障害飛越競技	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、速度350m/分、全長600m、第一段階7障害、第二段階5障害以内とする。
	馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
少年	障害標準飛越競技	高さ1.20m以下、幅1.40m以下、13障害以内、速度350m/分、全長約500m未満とする。

	スピード& ハンディネス競技	高さ 1.10m以下、幅 1.30m以下、13 障害以内、全長 600m未満とする。
	馬場馬術競技	国際馬術連盟制定のジュニアライダー個人競技馬場馬術課目を実施する。
	団体障害飛越競技	高さ 1.10m以下、幅 1.30m以下、10 障害以内、速度 350m/分、全長約 500mとする。

6 総合成績決定方法

(1) 競技得点

ア 第4、第11を除く障害飛越競技の各種目に1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点及び8位1点の競技得点を与え、第5、第6、第7の馬場馬術競技には1位8点、2位6点、3位4点、4位3点、5位2点の競技得点を与える。

また、同順位の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次後の順位の得点を加え、当該県で等分する。

イ 自馬競技の得点は各県上位2頭とし、表彰は成績順とする。なお、当該県の残り1頭が8位以内に入った場合においても、当該順位に係る得点は除外され、次の順位馬の得点は繰り上がらないものとする。

(2) 総合順位

(1)で算定された競技得点の合計により総合順位を決定する。合計点が同一の場合は、優勝数の多い県を上位とし、なおかつ同一の場合は、2位の数が多い県、それでも決しない場合は3位数を比較する。

7 特別国民体育大会参加人馬の決定方法

(1) 個人競技

ア 人馬の出場枠

総合順位により、下表のとおり割当てする。

区 分		1位	2位	3位	4位	5位	合計	
選	成 年	男 子	3	2	2	1	1	9
		女 子	2	2	1	1	1	7
手	少 年		3	2	1	1	1	8
	計		8	6	4	3	3	24
馬 匹		6	4	3	2	2	17	

イ ブロック予選終了後、各県2名の代表者による会議を開催し、各県がアにより獲得した人馬実数及び特別国民体育大会馬術競技実施要項に基づき、特別国民体育大会への出場種目を次のウ、エにより決定する。

ウ 各種別の各種目の優勝県が、種別毎に出場種目を1種目(障害競技、馬術競技別に)優先的に指定する。なお、優勝県が優先権を放棄した場合は、当該種目の次順位県に優先権を与える。以下、優先権の放棄があった場合も同様とする。

エ 各種目の「北信越ブロック出場基準」数のうち、ウで優先的に指定した以外の種目は、各種別の順位（5「総合成績決定方法」に準じて決定する。）により、成年男子、成年女子、少年の順に各種目のうちで、アで割り当てられた出場選手数に2を乗じた数の種目を指定する。次いで第2位から第5位までの県が順次出場選手数に2を乗じた数の種目を指定する。ただし、ウで優先的に指定した数は除外する。その後、監督枠とホースマネージャー枠について、第1位の県から順次種目ずつ指定する。

(2) 団体障害飛越競技

ア トーナメント方式とする。

イ 優勝県が国体出場権を得ることとする。

ウ 第3位、第4位の決定方法は、準優勝の自馬の成績の上位を第3位とする。

8 予選方法

各県馬術連盟は、この大会に出場する代表者及び代表馬を選出する。

9 参加得点

この大会に参加した県に、特別国民体育大会の男女総合成績・女子総合成績の参加点10点が与えられる。ただし、本大会への出場権を獲得しながらこの権利を放棄したときは、参加点は与えられない。

10 参加資格、所属県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

(1) 少年種別に参加できる選手は、中学3年生を含む2009年4月1日以前に生まれた者から2005年4月2日以降に生まれた者とする。

(2) 選手は、(公社)日本馬術連盟の会員で、騎乗者資格B級以上の取得者であること。ただし、少年種別に参加する選手で、騎乗資格B級以上の資格がない場合は、(公社)日本馬術連盟の会員であることのほか、参加県馬術連盟会長が発行する技能証明書を提出できること。

(3) 参加馬は、(公社)日本馬術連盟の登録馬であること。

(4) 馬匹は、参加県を重複して登録することができない。ただし、団体障害飛越競技の対戦相手チームに提供する馬匹を除く。

(5) 特別国民体育大会に出場する選手にあっては、この大会に登録されていなければならない。予備登録の選手も同様である。

(6) 監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認馬術コーチ1、公認馬術コーチ3のいずれかの資格を有する者であること。

11 表彰

(1) 各種別及び各種目の第1位から第3位までに表彰状を授与する。

(2) 総合成績第1位の県にトロフィーを授与する。

12 申込方法

- (1) 所定の Web ページ（国民体育大会参加申込システム）へアクセスし、必要事項を入力の上、所属県スポーツ協会を通じて、2023 年 6 月 15 日（木）正午までに申込手続きを完了すること。
- (2) 交代人馬は、申込時に予備登録をすること。（種別毎 2 名、3 頭までとする。）
- (3) 申込期限以降は、所定の Web ページ（国民体育大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

10 選手の交代

参加申込締切後の選手交代は、特別の事情（死亡、負傷、疾病、転勤等）がある場合のみ認める。特別の事情で人馬を交代させる場合は、それを証明する書類を添付し、参加県体育（スポーツ）協会を通じて期日までに下記あて文書で届け出なければならない。交代する人馬は、いかなる場合であってもあらかじめ参加申込書に予備登録人馬として記載されていなければならない。所定の手続きに基づき提出された交代届は、監督会議の議を経て承認される。

- (1) 提出期限 監督会議まで
- (2) 提出先 第 44 回北信越国民体育大会実行委員会事務局
〒950-0933 新潟市中央区清五郎 67 番地 12
デンカビッグスワンスタジアム
（公財）新潟県スポーツ協会内
TEL 025-287-8600 FAX 025-287-8601

なお、交代（棄権を含む。）があった場合は、実行委員会の指定する日までに、別途、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

14 参加上の注意

- (1) 出場順は、主管団体に決定する。
- (2) 参加馬匹の厩舎は、会場県で準備する。
- (3) 参加馬の場糧は、斡旋しない。
- (4) 人馬の事故に対しては応急処置を行うが、主催又は主管者はその責任を負わない。
- (5) 馬の入厩期間は、7 月 7 日（金）から 10 日（月）までとする。
- (6) 団体障害飛越競技に使用する馬は、各県参加自馬又は団体障害飛越競技として登録した馬のうちから提供するものとする。
- (7) メディカルカードは、各自で記載し携帯すること。

15 その他

会議日程

会議名	日 時	会 場
監督会議	7 月 7 日（金）午後 4 時	常願寺川公園馬術競技場 〒930-0275 富山県中新川郡立山町利田 1 (TEL 076-463-3343)

4 関係馬術連盟一覧

団体名	会長	専務理事 理事長	事務局長	事務局	
				所在地	電話番号
公益社団法人 日本馬術連盟	千 玄室	橋本 茂	藤野 一昭	〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 6F	(03) 3297-5611
石川県馬術連盟	箸本 芳夫	野村いずみ	箸本 芳夫	〒920-3105 金沢市八田町西 1 石川県馬事公苑内	(076) 258-5740
富山県馬術連盟	宮本 光明	栗林 幸男	宗田 和之	〒930-0275 中新川郡立山町利田地先 1 常願寺川河川敷公園南端管理棟	(076) 463-6616
長野県馬術連盟	西澤 一幸	佐藤 賢希	高橋 英昭	〒390-1131 松本市今井 6885-1 松本市馬術競技場内	(0263) 57-7704
福井県馬術連盟	仲倉 典克	吉村 喜信	吉村 喜信	〒910-0047 福井市海老助町 8-1 福井県立馬術競技場内	(0776) 27-6036
新潟県馬術連盟	渡辺 惇夫	徳田 絵美	小泉 智史	〒950-0948 新潟市中央区女池南 3-6-5 新潟市馬術協会内	(025) 285-3814

5 会場地市町村体育・スポーツ主管課

主管課	担当課長	所在地	電話番号
立山町教育委員会 教育課	堀 富実夫	〒930 - 0292 富山県中新川郡立山町前沢 2440	(076) 462 - 9983

6 第44回北信越国民体育大会実行委員会事務局

会長	事務局長	所在地	電話番号
花角 英世	細貝 和司	〒950-0933 新潟市中央区清五郎 67 番地 12 デンカビッグスワンスタジアム (公財) 新潟県スポーツ協会内	(025) 287 - 8600

7 第 44 回北信越国民体育大会参加選手・監督
【交代（変更）届・棄権届】

参加申込者

競技名		種別		種目*注) (階級)	
参加申込者名					

*注)階級制の競技においては種目欄に階級も記入

交代（変更）・棄権の理由

1. 体調不良のため（コロナ関連以外）（症状：_____）	
2. 怪我のため	
3. 一身上の都合	
4. コロナ関連（_____）	
5. その他（_____）	

交代（変更）者（※棄権の場合は記入不要）

フリガナ		生年月日		年 月 日生	
氏 名				(歳)	
連絡先 (TEL) ※1		連絡先 (メール) ※1			
所属区分※2	所属の所在地※3	〒			
職 業		勤 務 先 ・ 学 校 名 等			
第 76 回大会 参加都道府県		第 77 回大会 参加都道府県		例外適用 ※4	
中央競技団体 登録の有無	有 ・ 無	有 の 場 合 番 号 等			
その他の必要事項 (身長、体重、記録、段位等)					

疾病等による交代の場合は、診断書を添付すること。

- ※1 交代（変更）者が監督の場合は、連絡先を記入
- ※2 都道府県において、所属県について次のいずれかを選択していたかを記入
 成年種別（ア. 居住地を示す現住所 イ. 勤務地 ウ. ふるさと）
 少年種別〔ア. 居住地を示す現住所 イ. 学校教育法第1条に規定する学校の所在地 ウ. 勤務地
 エ. 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地〕
- ※3 所在地は、市町村名まで記入 ふるさとを選択した場合は「卒業学校名」を記入
- ※4 今回〔第77回大会（県及びブロック予選を含む。）〕と第76回大会〔不出場の場合は第75回大会（県及びブロック予選を含む。）〕の参加都道府県が異なる場合のみ記入〔1. 新卒業者 2. 結婚又は離婚
 3. ふるさと（成年） 4. 一家転住（少年） 5. JOC エリートアカデミー（少年） 6. 東日本大震災に係る特例措置〕

令和 年 月 日

第 44 回北信越国民体育大会実行委員会会長 様

公益財団法人 _____ スポーツ協会
 会長・理事長 _____
 競技団体名 _____
 会 長 _____
 記載責任者名 _____